

令和5年度 水戸第一高等学校 チャレンジ・プロジェクト全体概要

事業名	概要・備考
文理・融合講座 (高1・中3)	融合・横断的な内容を含め、トップレベルの研究者から最先端の学術知を教授いただくことにより、文理分けの弊害を乗り越え、生徒の知的好奇心や課題発見・解決能力等を育むとともに、自分にあった進路選択やキャリア形成に資する。 → 東大6名、京大8名など20名もの教授陣が、メタバース、デジタル人文学、睡眠科学、生命倫理等の講義を実施 10月20日・11月2日
米中派遣プログラム (高1・中3：希望者)	世界の二大大国である米中両国に生徒を派遣し、トップレベルの大学や産業、文化等に直に触れさせることにより、国際感覚やコミュニケーション能力等を育み、グローバルに活躍するリーダー育成に資する。派遣生徒は、英語試験(TOEFL JR)のスコアを中心に選考し、経済的困難を抱えつつも選考試験で優秀な成績を収めた者には、卒業生団体(知道会)の支援金を重点的に支給する。 →令和6年2月25日～2月29日(中：台湾) 3月3日～9日(米：サンフランシスコ)に各40名の生徒を派遣
東大探訪 (高1・中3)	東京大学に足を運び、大学教授からの特別講義、本校出身の学生との座談会、キャンパスの視察等を行うことにより、高い意識を持って学問に励み、希望進路を叶える一助とする。→講義：石井和之教授、座談会・キャンパス案内：東大生17名 8月6日
探究力向上セミナー (高2・中2)	問いの立て方や、リサーチ、執筆、プレゼンテーションのコツなど、実践的な知的生産の技術について、大学等の専門家から学ぶことにより、生徒の探究力を高める。→上野千鶴子先生(東大名誉教授) 7月6日、宮野公樹(京大准教授)9月14日
知道プロジェクト発表会 (全：高2中心)	総合の時間等において進めてきた課題研究の集大成として、事前に校内で選ばれた高2生がプレゼンやポスター発表を実施し、中高全体の探究活動の活性化に資する。→令和6年2月23日、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催
キャリア探究対話 (高2・中2)	様々な分野における社会のトップランナーをゲストに迎え、キャリア形成への道のりや仕事の醍醐味等について生徒と対話を行っていただき、生徒のキャリア形成やリーダーシップ育成に資する。 →会社を上場させた起業家、教育系YouTuber、自動車会社経営者、弁護士・元検事など12名のゲストを迎え12月14日に実施
GRITセミナー (高3・中1)	非認知能力やメンタルヘルス等の専門家を迎えて実践的なレクチャーを行い、生徒のGRIT(Guts Resilience Initiative Tenacityの略：やりぬく力)を高める。 →小澤竹俊先生(ホスピス医) 5月9日、鈴木規子先生(日本保健医療大学教授)12月1日
心に火をつけるフォーラム (全)	世界で活躍されているトップリーダーを講師に迎えてご講演いただき、困難な課題への挑戦心を育むなど、生徒の心に火をつける。 →ムハマド・ユヌス博士(2006年ノーベル平和賞受賞者・バングラデシュ)7月4日
パブリックリーダースクール (全：希望者)	社会的課題の解決に向け第一線で活躍している方々からの講義や、政治・行政の中枢である永田町・霞が関への訪問を行うことにより、SDGsを始めとする社会的課題や公的機関への理解を深めるとともに、公共の精神を備えたリーダーの育成を図る。 →グローバルリーダー講座(国連、WHO、WFP、UNHCRなど国際機関・NGO関係の講師による講演) 8月2日・4日 永田町・霞が関探訪(国会での模擬法案審議、農水省、法務省、厚労省、経産省、領土・主権展示館訪問) 8月3日